



平成 26 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 26 年 11 月 12 日

上場会社名 日東精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5957 URL <http://www.nittoseiko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 材木 正己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 小林 善朗 (TEL) 0773(42)3111
 四半期報告書提出予定日 平成 26 年 11 月 14 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 12 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 12 月期第 3 四半期	19,657	9.6	2,007	18.5	2,146	17.2	1,300	24.1
25 年 12 月期第 3 四半期	17,934	△5.5	1,694	△5.1	1,830	△1.0	1,047	34.2

(注) 包括利益 26 年 12 月期第 3 四半期 1,582 百万円 (△0.6%) 25 年 12 月期第 3 四半期 1,591 百万円 (78.6%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 12 月期第 3 四半期	34 12	—
25 年 12 月期第 3 四半期	27 48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 12 月期第 3 四半期	35,332	23,153	60.3
25 年 12 月期	34,407	21,861	58.7

(参考) 自己資本 26 年 12 月期第 3 四半期 21,314 百万円 25 年 12 月期 20,195 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 12 月期	—	4 00	—	4 00	8 00
26 年 12 月期	—	4 00	—		
26 年 12 月期(予想)				4 00	8 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成 26 年 12 月期の連結業績予想 (平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	25,600	7.3	2,560	10.7	2,690	7.7	1,570	11.0	41 19	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	39,985,017株	25年12月期	39,985,017株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	1,867,442株	25年12月期	1,873,931株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	38,108,711株	25年12月期3Q	38,124,267株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策により、企業収益や雇用情勢に改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、消費増税の影響による個人消費・生産動向の低迷、欧州諸国の財政問題や新興国経済の減速などの景気下振れリスクが懸念され、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループは、最終年度を迎えた中期経営計画「日東パワーアッププランⅡ」の完遂を目指し、グローバル事業の展開を加速させるとともに、新製品開発、新市場開拓、収益基盤の強化などの重点方針の推進に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は196億5千7百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は20億7百万円（前年同期比18.5%増）、経常利益は21億4千6百万円（前年同期比17.2%増）、四半期純利益は13億円（前年同期比24.1%増）となりました。

セグメント別の概況につきましては、次のとおりです。

<ファスナー事業>

当事業につきましては、アジア市場を中心に海外市場は堅調に推移したものの、国内市場は引き続き低迷し、加えて、原材料、電気料金、燃料価格の上昇、競合先との競争激化など、収益環境は極めて厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、海外における生産・供給体制及び営業力の強化を積極的に推進し、国内では、自動化・省力化や省エネ投資と併せて徹底したコストダウン対策を実施しました。同時に、炭素繊維強化樹脂用セルフタッピンねじ「CFタイト」などの新製品の市場投入や環境関連などの重点市場への提案営業活動を展開しました。

この結果、売上高は125億4千3百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は4億1千8百万円（前年同期比34.2%減）となりました。

<産機事業>

当事業につきましては、国内市場は、自動車関連業界、ガス関連業界など主な需要先の一部に更新需要があるものの低調に推移しました。一方、海外市場では、自動車関連業界を中心に設備需要が拡大し、新興国市場では、主力製品であるドライバ、ねじ締めロボットなどの標準機種製品が好調に推移しました。また、北中米及びアジア向けで、自動組立ラインが売上に寄与しました。

この結果、売上高は52億9千6百万円（前年同期比43.9%増）、営業利益は13億2千9百万円（前年同期比94.7%増）となりました。

<制御事業>

当事業につきましては、主力製品である流量計は、国内市場では、化学・薬品業界など主な需要先の設備需要が低調に推移しましたが、海外市場では、海洋資源開発の活性化を背景に造船業界からの需要が伸長しました。また、システム製品群では、昨年度の大受注の反動はあるものの、「マイクロバブル洗浄装置」、部品検査選別装置は、自動車関連業界を中心に市場の関心も高く順調に推移しました。一方、地盤調査機「ジオカルテ」は、住宅需要が消費増税前の駆け込み需要の反動を受け、期を通して厳しい状況が続きました。

この結果、売上高は18億1千7百万円（前年同期比7.9%減）、営業利益は2億5千9百万円（前年同期比31.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ9億2千4百万円増加し、353億3千2百万円となりました。

また、負債は、未払金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ3億6千6百万円減少し、121億7千9百万円となりました。

なお、純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ12億9千1百万円増加し、231億5千3百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、概ね予想の範囲内で推移しており、平成26年2月13日に公表した平成26年12月期の通期の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(参考)

当第3四半期連結会計期間において、当社の持分法適用関連会社であった東陽精工株式会社を連結子会社としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,369,257	5,568,407
受取手形及び売掛金	6,901,689	7,353,828
商品及び製品	1,349,193	1,494,791
仕掛品	1,752,717	1,462,165
原材料及び貯蔵品	1,363,783	1,432,466
繰延税金資産	99,706	119,850
未収入金	1,457,365	1,305,925
その他	87,334	151,565
貸倒引当金	△3,959	△4,528
流動資産合計	18,377,089	18,884,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,268,687	2,376,547
機械装置及び運搬具(純額)	1,424,245	1,679,626
土地	4,072,757	4,111,821
建設仮勘定	542,813	376,076
その他(純額)	262,969	272,939
有形固定資産合計	8,571,474	8,817,011
無形固定資産		
ソフトウェア	33,711	78,691
その他	13,307	12,578
無形固定資産合計	47,019	91,269
投資その他の資産		
投資有価証券	1,378,066	1,399,955
長期貸付金	2,043	4,894
繰延税金資産	585,638	542,102
長期預金	4,491,000	4,491,000
その他	956,489	1,102,932
貸倒引当金	△1,000	△1,000
投資その他の資産合計	7,412,237	7,539,885
固定資産合計	16,030,731	16,448,166
資産合計	34,407,820	35,332,639

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,468,591	3,257,499
短期借入金	3,293,713	3,242,346
未払金	2,157,833	1,938,438
未払法人税等	438,578	385,052
賞与引当金	160,032	419,444
その他	856,441	805,460
流動負債合計	10,375,190	10,048,242
固定負債		
長期借入金	181,350	151,100
退職給付引当金	1,752,841	1,732,029
役員退職引当金	103,300	121,000
その他	133,419	127,076
固定負債合計	2,170,910	2,131,206
負債合計	12,546,101	12,179,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,522,580	3,522,580
資本剰余金	2,518,891	2,518,891
利益剰余金	14,760,796	15,764,953
自己株式	△468,468	△468,252
株主資本合計	20,333,798	21,338,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,994	174,609
為替換算調整勘定	△307,636	△197,836
その他の包括利益累計額合計	△138,641	△23,226
少数株主持分	1,666,561	1,838,244
純資産合計	21,861,719	23,153,190
負債純資産合計	34,407,820	35,332,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	17,934,021	19,657,996
売上原価	13,422,301	14,642,302
売上総利益	4,511,720	5,015,694
販売費及び一般管理費	2,817,288	3,008,493
営業利益	1,694,431	2,007,200
営業外収益		
受取利息	22,866	29,005
受取配当金	12,964	6,465
受取賃貸料	49,220	51,811
為替差益	49,536	15,895
持分法による投資利益	32,602	37,808
その他	52,938	79,280
営業外収益合計	220,130	220,267
営業外費用		
支払利息	32,713	25,319
賃貸収入原価	32,823	33,417
その他	18,064	22,336
営業外費用合計	83,602	81,074
経常利益	1,830,959	2,146,394
特別利益		
固定資産売却益	2,175	287
負ののれん発生益	—	33,500
特別利益合計	2,175	33,788
特別損失		
固定資産処分損	4,964	6,803
特別損失合計	4,964	6,803
税金等調整前四半期純利益	1,828,171	2,173,378
法人税、住民税及び事業税	570,125	726,487
法人税等調整額	72,481	24,438
法人税等合計	642,606	750,926
少数株主損益調整前四半期純利益	1,185,565	1,422,452
少数株主利益	137,729	122,115
四半期純利益	1,047,835	1,300,336

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,185,565	1,422,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,143	6,945
為替換算調整勘定	299,925	127,937
持分法適用会社に対する持分相当額	30,007	25,516
その他の包括利益合計	406,075	160,398
四半期包括利益	1,591,640	1,582,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,294,805	1,415,751
少数株主に係る四半期包括利益	296,835	167,099

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	ファスナー	産機	制御	計	
売上高					
外部顧客への売上高	12,280,858	3,679,977	1,973,185	17,934,021	17,934,021
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,280,858	3,679,977	1,973,185	17,934,021	17,934,021
セグメント利益	635,271	682,796	376,364	1,694,431	1,694,431

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	ファスナー	産機	制御	計	
売上高					
外部顧客への売上高	12,543,738	5,296,786	1,817,471	19,657,996	19,657,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,543,738	5,296,786	1,817,471	19,657,996	19,657,996
セグメント利益	418,064	1,329,391	259,744	2,007,200	2,007,200

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

ファスナー事業において、東陽精工株式会社の子会社化に伴い、当第3四半期連結累計期間において、33,500千円の負ののれん発生益を計上しております。